

# 教育委員会事務局 令和4年度 局運営方針

## 1. 主な現状と課題

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、緊急事態宣言が発令されるなど社会経済情勢に大きな変化がもたらされました。これにより、公教育においても、感染症対策と学びの保障の両立が求められ、子どもたち一人ひとりが安全に、かつ、安心して学びに向かえる持続可能な学習環境を整えていくことが必要となりました。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を機に、その機運が高まったデジタル化・オンライン化の波は、学校教育や社会・経済、ひいては生活様式に至るまでを根本から変えていくような劇的な変化がもたらされることを予見させています。

今般のコロナ禍、そして世の中全体のデジタル化・オンライン化により、世界は急激に変化し、予測困難な時代を迎えています。こうした時代を生きる上で必要な資質・能力を、着実に育成していくことも強く求められています。

学校教育においては、実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿を見据え、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのないよう、ICT環境の活用を図りながら、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させていくことが重要です。

生涯学習においては、生涯にわたって質の高い学びを続けられる環境を構築することが重要です。オンラインを活用することで、時間的、空間的な制約を超えた学びを実現させるとともに、体験や対面での講座、多世代の交流などの学びも大切にしていくことで、学びと活動の循環を充実させていく必要があります。

また、子どもたちの成長を支え、よりよい地域社会の構築に寄与していくことも重要です。学校・家庭・地域・行政が連携・協働するための組織的・継続的な仕組みをより一層充実させるとともに、潜在している地域の教育力を学校に呼び込み、学校の教育力の一層の向上を図っていくことが必要です。

こうした取組と併せて、学校施設や生涯学習関連施設の長寿命化及びバリアフリー化を計画的に進め、安全・安心な学習環境を整備していく必要があります。

子どもたち一人ひとりが自律した学習者となる教育の推進と生涯学習環境を、より一層充実させていくことが重要です。



人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」を推進し、  
日本一の教育都市の実現を目指します。

## (1) 技術革新による社会・経済状況の変化

技術革新によりあらゆるものがインターネットにつながった結果、人工知能（AI）によるビッグデータの活用等により、生産性の向上が図られる一方、従来人手で行われていた仕事の多くがAIやロボット等によって代替され始めています。このような新しい時代において、さいたまSTEAMS教育等を推進しながら、生きて働く知識・技能を習得し、人間ならではの感性に基づいた思考力や判断力、表現力を身に付け、自身の学びを人生や社会に生かそうとする意欲や力、人間性を涵養し、実社会で新しい価値を生み出す力を育成していく必要があります。

また、こうした社会構造の変化に対応した教育の質の向上には、ICTが必要不可欠なツールとなります。ICTを活用したアクティブ・ラーニングを推進するとともに、個別最適な学びの実現など「ICTを活用した学びの改革」を進める必要があります。また、感染症対策により人と人の接触が制限される今だからこそ、子どもたちの豊かな人間性をはぐくむため、自然体験活動のより一層の推進が求められています。



オンラインを活用した対面とデジタルのハイブリッド型授業



館岩少年自然の家（福島県南会津町）での自然体験活動（源流探検）

## (2) グローバル化・多様化の進展とSDGsの推進

グローバル化が加速する中、人々のライフスタイルや価値観も多様化し、国内外の様々な場面において、言語や文化が異なる人々と主体的に協働していくために必要な力を育成することが重要です。そのためには、多世代交流や異年齢交流等、様々な体験を通じて学びに向かう姿勢や自己肯定感・自己有用感、豊かな情操や道徳心等、豊かな人間性を培う必要があります。

また、地球規模での人口増加や経済規模の拡大の中で、人間活動に伴う地球環境への負荷はますます増大していることから、持続可能な社会の創り手を育成するため、SDGsの実現を目指した教育を推進する必要があります。



「グローバル・スタディ」の推進  
～ALTと学ぶ授業の様子～



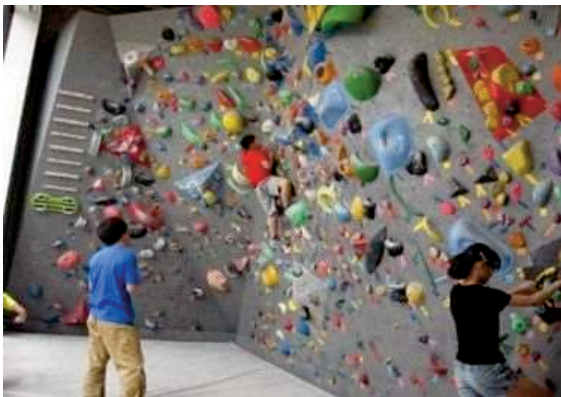
学校教育におけるSDGsの取組の推進  
～PRシート～



### (3) 人生100年時代の到来

「人生100年時代」の到来を迎えている現在、全ての人が生涯を通じて自らの人生を設計し活躍することができるよう、必要な知識・技能の習得、知的・人的ネットワークの構築や健康の保持・増進に資する生涯学習を推進し、「学び」と「活動」の循環を形成することが求められています。

そのためには、「いつでも、どこでも、何度でも」学べる環境と、人々が生きがいを持って社会に参画し、地域コミュニティの維持・活性化へ貢献できる仕組みを整えていくことが重要です。生涯学習関連施設で実施する対面の講座を一層充実させていくとともに、デジタルコンテンツを活用することで、いつでも学べるハイブリッド型の生涯学習環境を整備してまいります。



夏休み子ども公民館「ボルダリング教室」



さいたま市民大学におけるハイブリッド講座

### (4) 人口減少・高齢化の進行と家族形態・地域社会の変化

急速な少子高齢化や都市化が進み、人間関係の希薄化による地域コミュニティの構造が大きな変化を迎えようとしている中、地域が学校を育て、学校が地域を育てる、学校を核とした持続可能なスクール・コミュニティを構築することが必要です。

そのために、学校と地域が連携・協働して未来を担う子どもたちをはぐくむコミュニティ・スクールの一層の推進を図ることが重要です。また、子どもたちの他者との関わりを多様な活動を通じ充実させ、地域社会の中で心豊かで健やかにはぐくんでいくことも必要です。



コミュニティ・スクールの推進  
学校運営協議会での熟議



チャレンジスクールで活動する子どもたちの様子

### (5) 新時代の学びを支える教育環境の整備

学習指導要領の基本的な理念に基づく教育施策の推進にあたり、持続可能な学校の指導體制の構築や質の高い教育環境の整備、教育水準の更なる向上が求められています。学校施設においては、学校規模の適正化や老朽化対策、施設の長寿命化等の環境整備を図ることで人口の増減等の社会の変化に対応することが必要です。また、教員においても時代の変化に対応した資質・能力が求められており、管理職や教員の資質向上、いわゆる人材育成が、これまで以上に重要となります。管理職のマネジメント力や、教員の組織的・協働的に取り組む力等を向上させるための研修を進めていく必要があります。

また、子ども自身に危険を回避する能力をはぐくむ安全教育を推進することや、教職員の働き方について見直し、能力を最大限発揮して働くことができる持続可能な職場環境をつくることも重要です。



将来のさいたま市で活躍する教員の養成を目指す「教員養成あすなるプロジェクト」の実施



学校施設リフレッシュ推進事業による教育環境整備（三橋小学校完成予定図）



5年経験者研修において、学校組織の理解を目的とした研修を実施



学校管理研修講座において、管理職のマネジメント力向上を図る研修を実施

## 2. 基本方針・区分別主要事業

第2期さいたま市教育振興基本計画で掲げた「人生100年時代を豊かに生きる『未来を拓くさいたま教育』の推進」の基本理念のもと、子どもたち一人ひとりが自律していくことができる教育の推進と、生涯学習環境の整備に取り組んでいきます。

### (1) 技術革新による社会・経済状況の変化

～12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成～

\*（ ）内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和4年度	令和3年度	説明	概要掲載ページ
1	拡大 総振	アクティブ・ラーニングの推進 〔指導1課〕	281,968 (281,968)	256,998 (256,998)	学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付けられるよう、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの授業改善」を図り、「真の学力」を育成するとともに、本市の特定の課題及び全国的な教育課題等に関して、研究を委嘱し、委嘱校の教育力を向上	543
2	拡大	読解力向上に向けた学習指導の充実 〔指導1課〕	2,151 (2,151)	1,668 (1,668)	タブレットを活用し、教科横断的な視点を踏まえた学習指導を充実することで、デジタルコンテンツを読み解き活用する力など、今日的な課題に応じた児童生徒の読解力を育成するとともに、その成果を確認し効果的に広めるため、「読解力向上チャレンジカップ」を実施	543
3	拡大 総振	さいたまSTEAMS教育の推進 〔指導1課〕	36,401 (36,401)	2,467 (2,467)	科学・技術分野の進展をリードできる力や未来社会において自己実現できる力を育成するため、研究委嘱校による研究や教科横断的なプロジェクト型学習の全校実施等によるSTEAMS教育を推進	543
4	拡大 総振	児童生徒用コンピュータ整備事業 〔教育研究所〕	1,236,552 (1,236,552)	654,367 (654,367)	「GIGAスクール構想」により整備した児童生徒1人1台端末の効果が高めるため、新たに全ての市立小学校及び特別支援学校において大型提示装置（プロジェクタ）を導入するとともに、個別最適な学びを実現するため、教育データ可視化システムの設計等を実施	551
5	拡大 総振	自然体験活動の推進 〔館岩少年自然の家〕	1,514,848 (378,550)	820,964 (236,243)	児童生徒の「非認知能力」を向上させるため、自然体験活動を推進	573 574

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業



## (2) グローバル化・多様化の進展とSDGsの推進

～グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成～

\*( )内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和4年度	令和3年度	説明	概要掲載ページ
6	総振	グローバル・スタディの推進 〔指導1課〕	667,825 (551,609)	669,356 (552,816)	グローバル社会で主体的に行動し、たくましく豊かに生きる児童生徒を育成すべく、「グローバル・スタディ」を実施	545
7	拡大 総振	未来(みら)くるワーク体験(中学生職業体験)の推進 〔指導1課、生涯学習振興課〕	2,636 (2,636)	1,699 (1,699)	地域の事業所等で中学生が職場体験を行う未来(みら)くるワーク体験を継続するとともに、新たに企業へのビジネス提案を取り入れた問題解決型学習である「さいたまエンジン」を実施	543 565
8	拡大 総振	未来(みら)くる先生を活用したキャリア教育の推進 〔指導1課〕	7,598 (7,598)	5,715 (5,715)	講師の派遣を通じて、望ましい勤労観や職業観を育成するための教育を推進	543
9	総振	SDGsの実現を目指した教育の推進 〔指導1課〕	500 (500)	546 (546)	SDGsの実現を目指し各校の特色を生かした児童生徒主体の取組を推進するため、研究指定校による研究内容や各学校の創意工夫した取組についての普及・啓発	543
10	新規 総振	不登校等児童生徒への支援の充実 〔総合教育相談室〕	4,149 (3,782)	0 (0)	「不登校等児童生徒支援センター(通称:Growth)」を設置し、ICTを活用した学習支援や訪問相談等を実施	549
11	新規 総振	ひまわり特別支援学校知的障害教育部門高等部設置 〔特別支援教育室〕	13,271 (13,271)	0 (0)	知的障害児の特別支援学校等に係る教育環境の充実を図るため、ひまわり特別支援学校に知的障害教育部門高等部の設置準備を実施	582
12	総振	スポーツを科学する生徒の育成 〔高校教育課〕	6,768 (6,768)	9,969 (9,969)	浦和南高等学校と中学校の運動部においてICTを活用した指導方法の検討及び実証実験を実施 また、小学校においてスポーツにICTを活用した授業モデルの実証実験及び検証を実施	550

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業

(3) 人生100年時代の到来  
 ～人生100年時代を輝き続ける力の育成～

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和4年度	令和3年度	説明	概要掲載ページ
13	拡大 総振	公民館施設リフレッシュの推進 〔生涯学習総合センター〕	894,524 (37,537)	576,933 (16,958)	既存施設を長期にわたって有効に活用するため、公民館施設リフレッシュ計画を基に、老朽化対策を進めるとともに、バリアフリー化や省エネルギー化を図る施設改修を実施	568
14	拡大	公民館エレベーター設置事業 〔生涯学習総合センター〕	160,925 (38,325)	153,525 (19,825)	公民館のバリアフリー化を推進するため、エレベーターの設置に向けた工事・設計等を実施	568
15	新規	公民館DX推進事業 〔生涯学習総合センター〕	3,061 (3,061)	0 (0)	スマートフォン講座等の実施及び利用団体の学習活動を支援するため、拠点公民館にWi-Fi通信環境を整備するとともにオンライン講座を実施するため、タブレット等を整備	567 568

(4) 人口減少・高齢化の進行と家族形態・地域社会の変化  
 ～スクール・コミュニティによる連携・協働の充実～

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和4年度	令和3年度	説明	概要掲載ページ
16	拡大 総振	コミュニティ・スクールの推進 〔生涯学習振興課〕	16,073 (16,073)	4,307 (4,307)	学校を核とした地域づくりを推進するため、市立学校においてコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を全校実施に拡大	565
17	拡大 総振	チャレンジスクールの充実 〔生涯学習振興課〕	142,302 (100,366)	137,302 (97,344)	土曜日や放課後等に学校の教室等を活用し、地域住民、団体等の参画を得て、子どもたちの自主的な学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等を実施	565

[区分]新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業

(5) 新時代の学びを支える教育環境の整備  
 ～「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備～

\*( )内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和4年度	令和3年度	説明	概要掲載 ページ
18	拡大 総振	教職員研修事業	10,794	8,962	時代のニーズや多様化する教育課題に対応できる教員を育成するために、主体性や同僚性をはぐくむ研修、OJTを意識した研修、外部人材を活用した研修等を実施	537
		〔教職員人事課、教育研究所〕	(10,794)	(8,962)		550
19	拡大 総振	学校施設リフレッシュ	4,804,521	2,889,653	学校施設リフレッシュ基本計画に基づき、学校施設の計画的な改修・改築を実施	555
		推進事業	(553,985)	(383,317)		560
		〔学校施設整備課〕				561
20	拡大 総振	学校トイレ洋式化推進	109,761	102,353	児童生徒の健康面や良好な学習環境維持のため、市立小・中学校の洋式トイレの整備を実施	555
		事業	(12,861)	(9,753)		560
		〔学校施設管理課〕				
21	拡大 総振	武蔵浦和駅周辺地区義務	95,493	23,760	学校規模の適正化とともに、教育の質の向上を図るため、武蔵浦和駅周辺地区に義務教育学校を整備するための基本設計を実施	556
		教育学校整備事業	(95,493)	(23,760)		
		〔学校施設整備課〕				
22	拡大 総振	新設大和田地区小学校	884,856	87,722	大和田特定土地区画整理事業の進捗に合わせ、市民利用を前提とした学校体育施設（プール、体育館）を備えた小学校、保育所、放課後児童クラブを一体的に整備するための実施設計を実施	556
		整備事業	(150,456)	(87,722)		
		〔学校施設整備課〕				
23	拡大 総振	空調機リフレッシュ事	569,119	18,470	災害時の避難所機能の強化を図るとともに、良好な教育環境を確保するため、市立中学校の体育館への空調機の新規整備、市立小・中学校の老朽化した空調機の更新及び市立小学校の体育館等への空調機の新規整備に係るPFI導入可能性調査を実施	556
		業	(2,680)	(970)		
		〔学校施設整備課〕				
24	拡大 総振	小中学校における水泳	10,576	4,199	教育の質の向上とともに、持続可能で機能性・合理性を高めた教育環境の整備を実現するため、水泳授業の民間委託化をモデル的に実施	553
		授業の民間委託化事業	(10,576)	(4,199)		
		〔学校施設管理課〕				
25	新規 総振	小学校35人学級教室整	230,873	0	市立小学校の35人学級の実施等による学校の教室を確保するため、教室改修及び仮設校舎の設置とともに必要な物品を購入	543
		備事業	(230,873)	(0)		551
		〔学校施設管理課、学				553
		校施設整備課、教育				555
		財務課、指導1課、				576
		健康教育課〕				

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業



### 3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容	コスト削減額
教育財務課	消耗品費の見直し	OA関係消耗品の購入量を見直し、予算額を縮小する。	△ 242
学事課	印刷製本費の見直し	就学事務関連様式の印刷枚数を見直し、予算額を縮小する。	△ 102
教職員人事課	旅費の見直し	教員採用選考試験の大学説明会にオンラインを活用することで、予算額を縮小する。	△ 145
教職員給与課	旅費の見直し	過去の実績に基づき出張旅費単価について積算を見直し、予算額を縮小する。	△ 1,000
健康教育課	手数料の見直し	衛生害虫調査の実施方法を見直し、予算額を縮小する。	△ 4,939
教育研究所	印刷製本費の見直し	「初任者研修テキスト」等を電子化することで、予算計上を廃止する。	△ 680
文化財保護課	委託費の見直し	見沼通船堀草刈・樹木剪定について、業務内容を見直し、予算額を縮小する。	△ 1,122
文化財保護課	委託費の見直し	旧与野公民館清掃業務について、業務内容を見直し、予算額を縮小する。	△ 640
文化財保護課	印刷製本費の見直し	「文化財保護年報」について、市HPへのWEB掲載に切り替えることで、予算計上を廃止する。	△ 274
中央図書館管理課	使用料の見直し	過去の実績に基づき複写機の使用料を見直し、予算額を縮小する。	△ 285